

企業を元気に、情熱系経営マガジン

「継ぐ」極意

超精密切削加工という
祖父が育んだ技を次代へ

株式会社日進 尾野 功騎さん

堺のイチオシ

既成概念に捉われない発想力で
二つとないものづくり

ミツヤテック株式会社

SAKAIの傑作

太古の地球に起源を持つ
2つの成分から誕生

株式会社三上

SPECIAL FEATURE

未来への投資で、 さらなる発展を

境川工業株式会社／株式会社加藤鉄工所

境川工業株式会社
代表取締役社長 眞田 博之

コロナ禍にあっても コロナ後の情勢の変化に 対応できる準備を着々と

昨年は、多くのものづくり企業が新型コロナウイルスの影響を受けて経営計画の見直しを迫られた企業が数多くある中で、以前からの計画通り、新工場の建設を進めて業容の拡大に果敢にチャレンジする企業があります。コロナ禍にあっても未来に向けて、今なすべきことを確実に推し進めた2社にお話をうかがいました。

.....

産業用熱交換器に特化し 開発力や技術力を高め続けて

創業から70余年の歴史を誇る境川工業株式会社。産業用熱交換器の専業メーカーとして、産業機械に内蔵される熱交換器をはじめ、船舶や醸造工場、自動塗装エリアなどで使われる空調設備機器などを独自に開発し、多岐にわたる業界でその高い技術力が生かされています。

とりわけ同社が強みとしているフィンチューブ式熱交換器では、長年に積み重ねた知見や経験をもとに、より高効率でコンパクトな製品の研究開発を進めており、2019年には熱交換効率を15%も向上させた熱交換器を製品化。生産性を上げるばかりでなく、一次エネルギーの削減や炭酸ガスの排出量の抑制など環境保全にも貢献するものと評価され、「第5回シマノものづくり大賞」の特別賞を受賞しています。

このように同社では環境保全に向けた取り組みに積極的で、高効率化・コンパクト化を追求して熱資源の有効利用や資源の省資源化に貢献していることはもちろん、同社が独自に開発した溶剤回収用ステンレスコイルは、生産工程で溶剤ガスの発生する生産現場や環境プラントなどで採用されています。

また、得意とする耐食性に優れた材質で作る熱交換器も、これを製作できるメーカーは他には少なく、特に注力している溶接技術をはじめ、同社の技術力の高さを裏付けたものといえるでしょう。

新工場を建設中のコロナショック じつくりと丁寧な準備の時間に

スマートフォンやノートパソコン、また最近普及の進む電気自動車などで欠かせないリチウムイオン電池の需要が伸びていることから、その製造機械に組み込む熱交換器の同社への発注量も増大し、2〜3年前から本社工場内が手狭になったといえます。「安全で快適な職場環境を維持する必要がある、何よりも納期を守るためにも工場の拡張を図る必要があります」と眞田博之社長。

3年ほど前から新工場の増設を計画し、本社工場に近い立地で決定したのが2019年春。2021年の年明けからの稼働に向け工事を進めていたなかで、新型コロナウイルスの流行が始まったのです。

「経済活動が停止したので、まずは金融機関から予備の運転資金を確保しました。当社も大きな影響を受けましたが、幸いにも他業種のような8〜9割減というほどの落ち込みはなかったため、それを使い切ることはありませんでした」と語る眞田社長は、むしろ新工場の本稼働に向けたさまざまな準備をじつくりと丁寧に行ってきた時間になったと振り返ります。「昨年までのあの忙しさの中で操業を迎えていたら、準備に見落としがあったかもしれません」。

そうは言っても、社会全体が先の見えない不安感に包まれた時期です。そこで従前からの計画通りに工場建設を進めたことが、社内に向けても大きな安心感をもたらしたことが想像できます。

「急激に産業機械が必要とされなくなるとは思えません。設備投資は必ず行われるからです。ということは、熱交換器の需要も必ず戻ってくる。逆に、コロナ禍にあつて凍結された設備投資が一気に立ち上がってくることも考えられますし、またお客様の運営方針が変化する可能性も考えられます。それらに柔軟に対応できる体制を整えておくことが大事だと考えました。一方で、社員の健康が突然に脅かされる事態が起こるとはこれまで考えもしなかったことです。今回のコロナショックを機会に、危機管理の一つとして、感染予防対策は継続して徹底すべきだと思っています」。



新設の美原工場は、本社工場とほぼ同じレイアウトで設計。新事業も見据えて、1ライン増設されている。



生産ラインの乾燥工程で使用する、熱風発生用のプレートフィンヒーター



溶接技能の高さを自負する境川工業。溶接士の資格取得を積極的に進めている

境川工業株式会社

代表者名／代表取締役社長 眞田博之

本社／堺市美原区大保210-1

新工場／堺市美原区丹上320-1

TEL／072-361-3085

設立／1947年創業 1948年設立

資本金／1,200万円

従業員数／40名

事業内容／産業機械用熱交換器および空調用ヒーター・クーラーの設計・製造

<https://sakaigawa.co.jp>



成功のポイント／ 産業用熱交換器は、性能そのものがエネルギー（環境）コストに跳ね返るため、同社は産官学あげて性能向上に取り組んでいます。技術開発の結果こそが、多くの顧客の信頼はもとより、地球環境保全の一助となり、社員のモチベーションと境川工業の発展につながっています。

ところで、コロナ禍にあつて大きな影響を受けたのは営業活動だったといえます。感染拡大防止のために移動の制限などがあり、信頼関係のまだない新規顧客の開拓については、対面営業ができないために苦心されたとか。既存顧客との打ち合わせに活用したWeb会議システムについては十分な設備が整っていなかったため、堺市産業振興センターの「デジタルトランスフォーメーション導入促進支援」を受け、プレゼンテーションツールの整備を図ったといえます。

一方で、同社では以前から自社で独自に開発していた「能力計算プログラム」や「見積もり積算プログラム」を使つての提案活動を行つており、オンライン営業においても役立つようです。

今回のコロナショックに限らず、バブル崩壊やIT不況、リーマンショック、大震災と多くの経営危機があり、それらを先人たちは乗り越え克服し、さらに経済を発展させてきた歴史があると眞田社長。「事業を行っていくなかで、こうしたことが突然に起こっても不思議ではなく、今はとにかくあきらめず、地道にコツコツと誠実に事業を進めていくだけ」と語っています。

「新工場の事務所は機能的であるうえに、デザイン的にもモダンなものにしました。社員がいつもイキイキと働く、小さくても誇りの持てる「グッドカンパニー」を目指しています。お客様からも品質、納期、価格、対応のあらゆる面で満足いただき、信頼される企業でありたいし、さらには地域にも貢献できればと考えています」。今後は、熱交換器単体だけでなく、その周辺の事業も手がけていきたいと、新工場の稼働を迎えての抱負を語っていました。

あきらめず「コツコツと誠実に
今できることに取り組む」

複合機の導入とともに 新工場を建設 高精密加工で競争力を強化

株式会社加藤鉄工所
取締役社長 加藤 敏昭

6mの長尺ロールの製作を強みに
多様な業界から受注

印刷や合板、製鉄、フィルムなど、さまざまな産業機械に取り付けられている工業用ロール。加藤鉄工所は、ロール製作の専門メーカーとして原材料の仕入れから仕様・設計、製造と完成品の納入までを一貫して担っています。

特に強みといえるのは、一般に3mまでのロールを取り扱うメーカーが多いなかで、全長6mの長尺ロールを製造できることだとか。

また、これまでは外部に委託していた加工を自社で内作できるよう、穴あけから旋盤、五面加工などを行う複合機も導入。表面処理加工だけは今も外注しているものの、ほぼ自社内で製造過程を完結させるよう一貫体制を強化しました。

「新しく導入した複合機については、西日本でも数台しかないもので、より高度で複雑な注文にも自社で対応できるようにになりました」と加藤敏昭社長は語っています。

ところが、この複合機はかなり大きなもので、本社工場に設置する場所がなかったといえます。また、本社工場には3t車までしか搬入することができず、より重量のある製品を取り扱えるようにする必要も出てきたということで、新工場を計画したと加藤社長。複合機が製作・納品されるまでに約2年かかるこ

とから、その間に土地を決め、工場を建設させることになりました。

早めに若手技術者を増員し
竣工とともに円滑に操業を開始

新工場が稼働を開始したのは、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言が解除された直後の、昨年6月でした。コロナが騒がれ始めた頃には、建設工事でもすでに進んでおり、機械を置く土台を強化する基礎工事を残すのみだったので、予定通りに竣工を迎えることができたそうですが、残念ながら完成記念式典を開催することは叶いませんでした。得意先企業や関係者へのお披露目は、個別に新工場に招いて見学いただくという形で進められたそうです。

「緊急事態宣言中は休業することもありましたし、当社ではこれまで営業活動を特にしてこなかったため、得意先の営業活動に依存しており、その営業活動がコロナ禍にあつてままならないということでは一時は受注も減少しました。ようやく順調に稼働し始めたのは8月、9月頃からでした」と加藤社長。

それでも新工場の準備は抜かりなく、竣工の前から技術者を増員し、本社工場で実際の業務にあたりながら待機しており、新工場の完成とともにスムーズに操業を開始できたとのことだ。

「見学に来られた得意先には、若手技術者が多いことに驚かれるんです」と加

藤社長が話すように、現場では20代前半から30代の技術者が目に付きます。「ベテランが若手にマシツーマンで指導しているほかは、特別な機会を設けて勉強会を開いたりしていませんが、ものづくりの楽しさ、魅力は伝えたいと思いますね。実際、若いので新しい機械にも前向きで、やる気にあふれた社員たちです」と大きな期待感をのぞかせていました。

長年の懸案であった重量のある製品づくりについては、工場内にクレーンも備えて重い製品の加工なども手がけられるようになり、また搬出入についても10tトラックが出入りできるようになっていきます。

アフターコロナを見据えて
競争力をさらに強化

突然に訪れたコロナショックによる経営への影響について、加藤社長は「当社は製鉄から食品の包装フィルム、ヘアケア製品の詰め替え用パッケージなど、幅広い業界の製品づくりに関わっていることとロール自体が消耗品でリピートが多いことから、幸いにも景気にさほど左右されることなく、比較的安定して受注できます。最近では、輸血や点滴に用いられる医療用パックを製造するロールも製作しています。コロナによって一時的に落ち込んだとしても、終息後は需要が戻ってくると考えていますので、その先にいかに備



精度の求められる加工が得意な円筒研磨機



モニターで複合旋盤を操作



10tトラックで重量のある製品を搬出できるようになった新美原工場

株式会社加藤鉄工所

代表者名／取締役社長 加藤敏昭

本社／堺市中区榎葉152

新工場／堺市美原区太井339-1

TEL／072-239-7816

設立／1963年創業 1977年設立

資本金／1,000万円

従業員数／26名

事業内容／印刷・合板・鉄工各種ロール製作、メッキロール・ゴムロール製作、円筒研磨加工・機械製作および修理、機械設計
<https://kato-t-k.com>



＼成功のポイント／

同社は、技術力
はもとより、早めの見積と、早めの納期
により、厳しいスケジュール管理の顧客
から大きな信頼を得ています。また、抜
かりのない若手技術者の増員と準備教育
により、新工場に導入された最新設備は
スムーズに立上り、更なる顧客の信頼獲
得につながると期待されます。

「コロナショックを受けて、当社は自ら営業活動をしてこなかったことが弱みだと気付かされました。ずっと待ちの姿勢だったといえます。ホームページすら作っていなかったんですから（笑）。最近になってようやく、加工事例などをアピールするために立ち上げました。設備を増強したことで、納期管理も確実に行いたいと思っています」。

同社がもともと持っていた高い技術力や競争力が、新工場の増設によってさらに強化されたことにより、得意先の短納期やコストの低減、そして少量多品種生産といった要望に応えられる体制が整えられたと加藤社長は語っています。

新工場の稼働を機に、待ちの経営から攻めの経営へ。自らが動き、得意先からの注文、ひいては時代に求められるものにあわせて設備も整備していきたいということで、さらなる複合機の増強も視野に入っているとのこと。ますますの成長が期待されます。

継ぐ
極意

さまざまな事業継承の
有り様をご紹介します

超精密切削加工という 祖父が育んだ技を次代へ

取締役 尾野 功騎 さん



株式会社日進

堺市堺区戎島町4-32-2 TEL.072-221-8081

代表者名／代表取締役社長 尾野 武

設立／1958年創業 1965年設立

資本金／1,000万円

従業員数／15名

事業内容／NS超硬バイト製造・販売、切削工具卸売、超硬工具卸売、NS精密スローアウェイバイト製造・販売、NC成形研削加工、切削工具の輸出入
<http://www.nissin-tool.co.jp/>

1958年の創業。航空機や自動車、ガスタービンなどで使われる耐熱合金鋼などの難削材の精密加工を行う超硬工具の製造を得意とし、特に20mm以下の小径の加工で強みを発揮している。海外の日系企業からの引き合いも多い。



株

株式会社日進の60余年の歴史を積み重ねてきた創業者である尾野武現社長からバトンを受け継ぐのは、孫である尾野功騎取締役です。「高校生の時に、父が自分で会社を興して独立したので、漠然と祖父の会社を継ぐことは頭にあったかも。はつきりと意識したのは大学の就職活動の時期で、自分は勤めるよりも経営するほうが向いていると思いました。それに、父がやっているIT関係よりも、ものづくりに興味がありましたから」。

これからはエネルギーが注目される時代だと考え、大学はエネルギー関係を専攻。卒業後には大手エネルギー会社へ就職しています。「当社ではガスタービンの部品加工を行う工具を製造しているので、まず大企業で営業の経験を積んでおきたいと考えました。当社が加工する部品の最終的なユーザー企業と直接関わったことは、今に生きていますね」と尾野取締役。エネルギー管理士の資格も活かしているそうです。

同社への入社は2018年。すでに、より複雑な加工のできるマシンングセンタの製造工程に参入してきたほか、第二創業的に新しい産業領域への進出を図り、売上上の10、20%を占めるまでになっています。それでもまだ社長からは「投資すべきところには投資しろ、慎重すぎる」と言われているのだとか。

「価格競争に陥ることのない高付加価値なものづくりを追求し続けてきた社長の経営方針は、今後とも変えることなく貫いていきたい。経営者としては、結果を出すことが全て。結果を出せば、従業員もついてきてくれるでしょう。言ったことに責任を持って実行するだけです」と力強く語っていました。

展示会出展 レポート

コロナ禍でも販路開拓を支援！

ライフスタイル見本市「東京ギフト・ショー」で 堺の商品の魅力を発信！

10月7日～9日、日本最大のライフスタイル見本市「東京インターナショナルギフト・ショー秋2020」が東京ビッグサイトで開催され、堺市産業振興センターは、市内中小企業の販路開拓支援を目的とし、13社共同で出展しました。堺に生きたものづくりの歴史と匠の技が生かされた商品を、全国の小売・卸業を中心に幅広い業界に提案しました。

同センターの販路開拓課・中麻優子さんは、「堺の地に脈々と受け継がれる伝統の技と魂。根底に流れる、いつの世も変わらない、たしかなもの」を大切にしつつ、その時代に応じて柔軟に新たなアイデアを取り入れ、人々のニーズに応じていくのが、堺のものづくりです」と語ります。そうした堺の製品の魅力を、ブースを訪れた大勢の来場者たちが実際に触れて確かめながら、作り手や企業の担当者との熱心な商談を繰り広げていました。

同センターでは毎年秋に同展示会に出展していますが、コロナ禍での新たな取組みとして13社のうち6社が「リモート出展」を実施しました。

会場には商品とタブレットを設置し来場者が商談を希望する場合に、各事業所で待機する担当者オンラインで商談できるというものです。多くの来場者の利用があり、ウイズコロナ時代の多角的な販路開拓につながるきっかけとなりました。

このような新たな取り組みに加え、各事業者の個性が出た展示と、遠くからでも堺の技がわかりやすく表現されていたことが評価され、「ベストブースデザイン賞」を受賞しました。今後は展示会の出展に際し、伝統産業とデザイナーとのコラボ

レーションによる製品の創出や、食品なども含めた多様な分野の新販路の開拓にも取り組みたいとしています。



ベストブースデザイン賞のトロフィー

出展者インタビュー



代表取締役 石谷徹郎さん

堺打刃物の良さを より多くの人に伝えたい

5世紀に古墳建造のための道具を作ったことが起源ともいわれ、伝統的工芸品にも指定されている堺打刃物。そんな刃物を製造する、創業1863年(文久3年)の(株)堺石藤は初めて出展しました。代表取締役の石谷徹郎さんは、「歴史の中で磨かれ洗練されてきた包丁には、敢えて目先の変化は付けません。その特徴をさらに多くの方に知って頂きたい」と語ります。「純和風の包丁は、特に海外の方に喜ばれます。また、食材のおいしさを引き出す包丁は、男性からの支持がとても高いですね」

(石谷さん)。



デザインアイアン雑貨を製作するKOZZcreateは、オンライン商談を実施。「ニーズのある方と繋がる良い試み」と代表の羽谷貴志さんは語ります。



毎日の暮らしの中で、漉す、蒸す、絞る、磨く、拭く等々、万能布として使える「和晒ロール ささ」を提案した武田晒工場の展示。

東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2020 「公益財団法人 堺市産業振興センター」ブース概要

出展企業

(株)堺石藤(刃物)、角野晒染(株)(和晒)
KOZZcreate(アイアン雑貨)、(株)武田晒工場(和晒)
竹野染工(株)(捺染)、(株)ナカニ(注染)

「堺食産品海外セールス実行委員会」出展企業

(株)和泉利器製作所(刃物)、河村刃物(株)(刃物)
大醬(株)(醤油)、西尾茗香園茶舗(お茶)
(株)馬場刃物製作所(刃物)、(株)福井(刃物)
(株)山脇刃物製作所(刃物)

「経済産業大臣指定伝統的工芸品」IPR

「堺打刃物」「浪華本染め」の製品等展示

堺市中小企業活力強化資金融資(有担保)のご案内

当センターが債務保証を行う「堺市中小企業活力強化資金融資(有担保)」について、下記のいずれかに該当する方が当該融資を利用する場合、貸付金利の優遇(年1.4%→年1.0%)及びその保証料について堺市が全額を負担する制度を実施しています。

- 1 申込期間** 令和3年3月31日(水)まで
- 2 対象者**
 - ①中小企業庁のBCP基本・中級・上級コースのいずれかを策定し、自然災害発生時に業務を継続するための設備投資を行なう方
 - ②成長産業分野(環境エネルギー産業分野・健康医療産業分野・IoT/IT産業分野)やIoT/IT技術の導入にかかる設備投資を行なう方
 - ③堺市の地場産業を営む事業者(自転車又は自転車部分品の製造を行う事業者・刃物の製造を行う事業者・数物の製造を行う事業者・線香の製造を行う事業者・昆布の加工を行う事業者・繊維の染色又はさらしを行う事業者)で当該製品の製造又は加工のための設備投資を行なう方
- 3 貸付金利** 年利1.0%(通常1.4%から▲0.4%)
- 4 保証料** 堺市が全額を負担
- 5 受付場所** 当センター金融支援課で融資相談を行い、融資の申し込みを行ってください。

※詳しくは、堺市のホームページをご覧ください。取扱金融機関や堺市産業振興センターまでお問合せください。

お問合せ先

公益財団法人堺市産業振興センター 金融支援課 〒591-8025 堺市北区長曽根町183-5
TEL 072-255-8484 / FAX 072-255-5162 / (融資お客様専用フリーダイヤル) 0120-072-232
堺市HPアドレス: <http://www.city.sakai.lg.jp/> から「堺市中小企業融資制度」で検索してください。

IPC スマートものづくり導入支援センター

IoT、AI、ロボット、デジタルトランスフォーメーション(DX)導入促進支援を行っています!

IoT、AI、ロボット、DX導入を考えている堺市内の中小事業者等向けに、窓口相談や現地診断によるコンサルティング支援を行います。

(1) IPCスマートものづくり導入支援

IoT、AI、ロボット導入を考えている堺市内の中小事業者等向けに、コンサルティング支援を行います。導入に向けて、ロードマップを作成し、主に堺市内のシステム等を提供できる企業へおつながりもします。また、IoT等導入に関して、堺市の「スマートものづくり導入支援補助金」がございします。IPCスマートものづくり導入支援センターの支援を受けられた方は、同補助金の申込みできます。



(2) デジタルトランスフォーメーション(DX)導入促進支援

デジタル技術を活用した、非対面型ビジネスモデルへの転換、販路拡大等に関する支援を実施します。また、支援を受けた事業者(堺市内の主たる事業所がある製造業の中小企業者(小規模事業者は除く))は、「堺市中小企業デジタルトランスフォーメーション促進補助金」を申込みできます。



相談に関するお問い合わせ先 公益財団法人堺市産業振興センター 経営支援課
TEL:072-255-6700 FAX:072-255-1185 Email: keiei_shien@sakai-ipc.jp

「メディカルジャパン大阪2021」関西広域連合ブースへ出展!

さかい健康医療ものづくり研究会では、堺市内の中小企業が持つ技術シーズと健康・医療分野の現場ニーズを医工連携コーディネーターがつなぎ、製品開発などに総合的なサポートを行っています。2月に開催される「メディカルジャパン大阪2021」関西広域連合ブースに、今年は、「感染症対策」をテーマに研究会参加企業から3社出展します。是非お立ち寄りください。

展示会名 メディカルジャパン大阪2021

開催日時 令和3年2月24日(水)～26日(金) 10:00～18:00(最終日は、17:00)

開催会場 インテックス大阪

ミツヤテック株式会社

<http://www.mituyatec.co.jp/>

展示物: 弱酸性次亜塩素酸水生成装置「CELA」
連携先: 大阪産業技術研究所

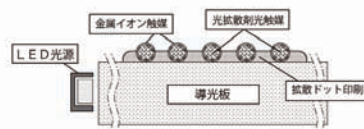


株式会社マツダスクリーン

<http://www.matsuda-screen.co.jp/>

展示物: 抗菌・抗ウイルス効果のある導光板照明器具
連携先: 大阪府立大学

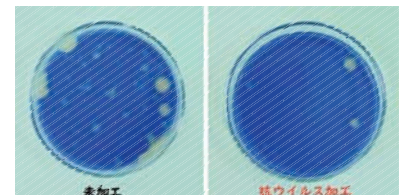
抗菌・抗ウイルス効果のある導光板照明器具の開発



コタニ化学工業株式会社

<http://www.kotani-chemical.co.jp/>

展示物: 抗菌・抗ウイルス・抗アレルギー加工薬剤
連携先: 大阪産業技術研究所



お問い合わせ 公益財団法人堺市産業振興センター 経営支援課
さかい健康医療ものづくり研究会事務局 TEL 072-255-6700

令和2年度「堺優良従業員・堺技能功労者表彰式」

一企業・地域経済発展など功績のある122名を表彰一

10月22日(木)、堺商工会議所2階大会議室において、「令和2年度堺優良従業員・堺技能功労者表彰式」が開催されました。「堺優良従業員表彰」は、堺市内の事業所等に勤務する従業員で、特に企業の発展に貢献があった方々をより広く顕彰し勤労意欲の向上に資すること、また「堺技能功労者表彰」は堺市内で功労顕著な技能者の社会的・経済的地位と技能水準の向上を図ることを目的として、堺市と堺商工会議所が共催で、毎年実施しているものです。今年は122名(64事業所)が栄えある表彰を受け、それぞれ永藤堺市長・葛村堺商工会議所会頭連名の表彰楯が授与されました。各部門別表彰内訳(順不同・敬称略)は以下のとおりです。

《堺優良従業員表彰》 119名	
◆永年表彰 81名	対 象: 勤続10年以上、勤続20年以上、勤続30年以上、勤続40年以上、勤続50年以上
◆功労者表彰 36名	対 象: 勤続年数を問わず、特に功労があった従業員
◆産業ルネサンス表彰 2名	対 象: 新商品・新サービスの開発、生産・環境分野での技術開発等、独創的なアイデアや新しい手法等を考案することで、地域経済の再生・発展に貢献した従業員またはグループ
受賞者: 杉原 陽一(株式会社クボタ 堺製造所)、朽岡 照(株式会社クボタ 堺製造所)	
《堺技能功労者表彰》 3名	
対 象: 堺地域の産業振興及び業界全体の振興・発展に貢献している功労顕著な技能者	
受賞者: 日下 光司(堺共同漬物株式会社)、澤田 博幸(澤田電気株式会社)、森永 啓之(オムニクス株式会社)	

受賞者氏名等、詳細につきましては、堺市ホームページ下記アドレスをご覧ください。

https://www.city.sakai.lg.jp/sangyo/careerweb/kigyo/saiyo_techaku_ikusei/hyoshoshiki.html

貸会場のご案内「イベントホール・セミナー室・会議室」

- イベントホールをはじめ、コンベンションホール、大小会議室、セミナー室、小ホールなど、幅広く対応可能な14会場をご用意しています。会議、研修会、講演会、展示会、パーティなど様々な用途でご利用いただけます。
- イベントホールについては、耐震工事が終了したため2020年12月より利用を再開しております。照明器具のLED化、壁や天井の塗り替え等も行いましたので、以前より明るい印象のホールになりました。ぜひともご利用お待ちしております。

【利用時間】9:00～21:00

【休館日】年末年始(12月29日～翌年1月3日)

【駐車場】約230台(無料)

【最寄り駅】中百舌鳥(なかもず)駅から約300m



イベントホール(展示会形式)



セミナー室3(スクール形式)

堺市産業振興センター 貸会場お問い合わせ先

TEL:072-255-0111 ホームページ <https://www.sakai-ipc.jp/>

太陽パーツ株式会社様より同社製品足踏み式消毒器「フムトデール」を寄贈いただきました。

このたび、新型コロナウイルス感染症予防のために、太陽パーツ株式会社様 <https://www.taiyoparts.co.jp> から、「堺市産業振興センターへの来館者様の新型コロナウイルス感染予防のお手伝いをしたい」とのメッセージとともに、同社製品足踏み式消毒器「フムトデール」 <https://www.taiyoparts.co.jp/blog/5162/> を寄贈いただきました。当センターのメインエントランス(入口)に設置して、大切に使用させていただきます。感染の拡大が懸念される状況のもと、多大なるご配慮をいただいたこと、心より御礼申し上げます。



中小企業を
全力応援



公益財団法人

堺市産業振興センター

堺市産業振興センターでは、経営相談や技術開発支援、各種セミナーなど研修に関する事業、堺市内中小企業に対する融資関連事業、地場産業の紹介・製品展示・販路開拓に関する事業、情報誌やホームページ・メールマガジンなどによる産業情報発信、イベントホールや会議室などの貸出事業と多種多様なサービスでビジネスをサポートしています。

スマートフォンやタブレットで読める!

さかいIPCプレス デジタルブック配信中

CHECK

無料の専用アプリ、ブラウザでも閲覧OK!

便利な機能がいっぱい!

10言語対応

[日・英・中(簡体)・中(繁体)・韓・タイ・ポルトガル・インドネシア・スペイン・ベトナム語]

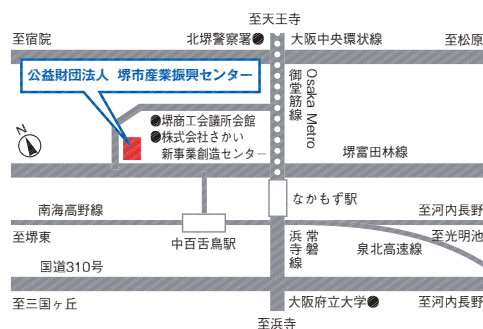
文字ポップ

アップ機能

本文音声

読上げ

※ベトナム語は音声読上げ機能には対応していません。



●南海高野線中百舌鳥駅より約300m ●Osaka Metro御堂筋線なかもず駅より約300m ※駐車場は、隣接の来客用駐車場(無料)がございますが、できるだけ電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

〒591-8025 堺市北区長曾根町183-5

TEL.072-255-3311(代) FAX.072-255-5200

<https://www.sakai-ipc.jp/>

有用性とともに安全性を第一に 科学的根拠を徹底的に解明

新型コロナウイルスに明け暮れた2020年。アルコールに代わる消毒薬としてにわか

に注目されたのが、次亜塩素酸水※でした。ミツヤテック株式会社は、2008年に弱酸性次亜塩素酸水の生成装置を独自に開発・製造しており、昨年は多くの問合せが寄せられたそうです。しかし、むやみに販売しない、それが山本善和社長の創業以来の方針です。「当社の弱酸性次亜塩素酸水生成装置『CELA』は、効果はもちろん人体にも安全であることを第一としています。だからこそ一度でも『CELA』で生成された弱酸性次亜塩素酸水を使って、効用や使い方をよく理解していただいている企業としかお取引しません」。

「CELA」の一番の特長は、生成されたCELA水のpH値6.5を誤差領域±0.05以内という高い精度で安定させていることで、希釈せずに用いることで安全にその効果を最大限に活かせることです。「開発当初、まずこだわったのは、このpH6.5の根拠でした。医師や専門家に尋ね回ってようやく、殺菌・抗菌作用を持つ唾液のpH値だということが判明しました。それまでの生成装置の誤差領域は±0.5でしたが、医療で用いるのなら誤差領域は±0.05まで安定させないといけないと聞き、現実的には無理と言われましたが、1～2年かけて実現。その独自の製法については特許も取得しています」と山本社長。正式に医療機器として販売するために、現在は医療機器の承認に向けて準備を進めています。

無知は強力な武器

基礎理論を重視したものづくりを

ところで、山本社長が同社を創業した経緯からユニークです。「もともと経理をしていた前の勤め先で、ある製品の開発で私の



「今後は、弱酸性次亜塩素酸水「CELA」を医療器具の洗浄や医療空間の除菌に役立てていただきたい」と語る山本社長。

アイデアが採用されたことから、開発に携わることになりました。その会社が倒産した後も製品の供給依頼があったため、当初は外部の製造会社の協力を得て引き継いだんですが、その外注先も倒産。設備と技術者を引き受け、製造も行うようになったんです」と山本社長。子どもの頃から、手作りおもちゃを工夫したりするのが好きだったとはいえ、ものづくりについて専門に勉強したことはなかったとか。

「私が考えるものづくりは、技術を固定せず、定説や学説にも固執しません。むしろ、基礎理論が大切。中学・高校の理科で学んだ知識が重要なんです」という山本社長の持論を裏付けるようなエピソードがあります。自衛隊が野外で使用する炊き出し用バーナーの燃焼ノズルや配管に油が詰まってすぐに故障するというので相談があった時に、故障の原因が空気を送るコンプレッサにあることを突き止めました。では、コンプレッサをなくせばいい。それまで

の常識では考えられないことですが、かつて山本社長がオーストラリアで山火事に遭遇した時に、逃げてきた動物たちが酸欠で一時的に気を失うのを目の当たりにしたことを思い出したのです。わざわざ酸素を送り込まなくても、火は燃焼するために自然とまわりの酸素を取り込む。そこから2年という年月を要しましたが、全く新しい燃焼方法を開発しました。

「無知は強力な武器」と語る山本社長の何にも捉われない自由な発想力が、同社の大きな強みのようです。

活用した事業メニュー

■エキスパート派遣事業

医療機器製造業及び医療機器製造販売業の業許可を取得するための指導をいただきました。

■マッチングコーディネート事業

弱酸性次亜塩素酸水生成装置「CELA」を医療機関に販売するために取り組むべきことを指導を受けるため、専門家を紹介いただきました。

ミツヤテック株式会社

代表者名／代表取締役 山本善和
本社／堺市北区常磐町3-14-9
TEL／072-255-3141
設立／1996年
資本金／3,000万円
従業員数／10名
事業内容／弱酸性次亜塩素酸水生成装置の開発・製造、融雪ボイラー・融雪システム・温床暖房・オゾン機器・オイルバーナーのシステムの開発・製造、各種基板の開発・製造、各種加工品の設計・製造
<http://www.mituyatec.co.jp/>



「Clean Eco Life Antivirus」の頭文字から「CELA」と名付けられた弱酸性次亜塩素酸水生成装置



※次亜塩素酸水・・・野菜の洗浄などに使われる酸性電解水で、2002年に食品添加物（殺菌剤）に指定されている。台所漂白剤に使われている次亜塩素酸ナトリウムとは全く異なるもの。



既成概念に捉われない発想力で
二つとないものづくり

堺に活気を、ものづくり応援マガジン

太古の地球に起源を持つ
2つの成分から誕生



堺のものづくりから生まれた逸品

SAKAIの傑作

米オレゴン州南部にあるクラマス湖でのみ食用として採取されるというブルーグリーンアルジー。25~30億年前に誕生した藍藻類というバクテリアの一種で、多くの葉緑素やフィコシアニンというタンパク質をはじめ、オメガ3系の脂質、ビタミンB12を含んでいます。

株式会社三上は、このブルーグリーンアルジーにいち早く着目し、自社で独自に企画開発した健康食品やヘアケア製品、スキンケア製品を展開しています。

なかでも、大阪製ブランド製品に認定されている「みだれ髪トリートメントシャンプー」は、1億年前の白亜紀地層から抽出されたコロイドミネラルのほか、ブルーグリーンアル

ジーなど25種類の植物由来の成分で作られたもので、こだわりはノンシリコンである上に、石油系の界面活性剤や保存料などを一切使用していないこと。天然のトリートメント成分により、コンディショナーも不要だとか。

「最初に手がけた健康食品も日本人に飲みやすいよう有機知覚青々煎茶やべにふうき茶などを配合していますが、ブルーグリーンアルジーの凄さをもっと知っていただきたく、スポーツ選手たちによるモニターを経て、ブルーグリーンアルジー 100%のパウダーを12月から発売開始しました。」と上林昌三社長。自身が長く悩んでいた持病も改善したことから、ブルーグリーンアルジーへの熱い思いが伝わってきます。

株式会社三上

代表者名/代表取締役 上林昌三
本社/堺市堺区四条通6-10
TEL/072-224-0233
設立/2007年
資本金/1,000万円
従業員数/7名
事業内容/化粧品の製造・販売、健康食品の製造・販売
<https://ncosmo.kenko-mikami.com>
<https://www.organiccosmo.co.jp>



2020年12月末~2021年3月末頃まで堺市産業振興センター1F「さかいモノテラス」で展示予定